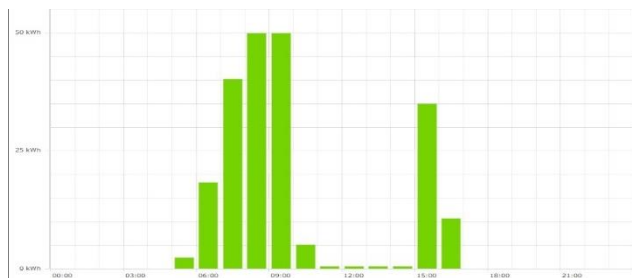


東北電力が自然エネを出力制御

4月—5月、ほぼ毎週実施し、12回を超す

東北電力は太陽光発電が1年の中で最大稼働する4月—5月の2か月間に、12回を超す出力制御を実施。多くの太陽光発電所がその対象となりました。NPO きらきら発電の亘理4号機も4月30日と5月5日の2回対象となり、4月30日は午前10時から午後3時までの5時間(右グラフ)、5月5日は午後0時から午後3時までの3時間が対象になりました。1時間当たり50kwhの発電量なので、400kwhカットされたこととなります。



自然エネをできる限り出力制御の対象外に

ただしカット分の電気代は売電したものと見なして、2か月後に料金が振り込まれる制度となっています。きらきらに経営的な被害は発生しませんが、せっかく自然エネルギーで発電した電気をカットし、使わないのに金だけ払う制度はそもそもおかしい制度です。できるだけ出力制御しなくてすむよう、電力会社間の送電網を拡大するとか、電力会社の蓄電池を増やすなどの対策をすべきです。これから洋上風力発電の開発が進むだけに、ますます対策強化が求められます。

FIT(固定価格買取制度)の運用にもっと柔軟性を

それに現在のFIT(固定価格買取制度)では「発電した電気を必ず売らなければならない」制度になっていますが、発電所が自分で蓄電池に電気を貯めたり、それぞれの発電所が自分で電気を消費することも可能にするなど、自由な制度設計に変更すべきです。

なないろの里7号機順調に稼働

仙台市が家庭用太陽光設置費ゼロの補助金検討

きらきら発電が2022年3月設置した若林区なないろの里7号機の発電が順調です。5月検針で485kwhの売電を確認。想定より1割増しです。なお仙台市がカーボンゼロ社会をめざし、今年度から「家庭用太陽光発電設置費ゼロ」企業に補助金を出す予定で、7月頃には制度内容が確定する見通しです。

この補助金制度が発足すれば、きらきら発電の負担が軽くなり更に取り組み安くなるので、ますます家庭用太陽光の設置に力がはいりそうです。

なお2022年度の家庭用太陽光発電所は若林区荒井の河野様宅への設置を決めており、来年度2023年度の設置場所を今探しています。皆様、ご協力をお願いします。



きらきら発電市民共同発電所ニュース

2022年6月号 第90号

〒981-3215 仙台市泉区北中山3丁目17-12

電話 070(2010)3777

HP kirakirahatuden.com/

Eメール hirohata3777@outlook.jp

きらきら発電オンライン講演会「石徹白での挑戦」

講師＝NPO法人地域再生機構副理事長 平野彰秀さん

NPO きらきら発電主催のオンライン講演会を 5 月 25 日午後 2 時～3 時半に開催。岐阜県郡上市石徹白で小水力発電所を運営しながら地域作りを進める平野彰秀様に講演していただきました。21 軒のオンライン参加で、30 名の聴講でした。

話は非常に分かりやすく、かつ具体的で、楽しい講演会。「学生時代から地域づくりを学び、かつ故郷岐阜に通って地域づくりを進め、その中で長良川河口堰反対運動を経験された人々となつたり、長良川上流にある白山登山口石徹白集落に導かれた。江戸時代 1000 人が住んでいた集落で、今 100 世帯 250 人となっている。その集落で手作りの水車発電を手掛け、小水力発電へとつながり、それ以来若い移住者が増え、今や子供たちが 8 倍にも増えた。地域のじいじ・ばあばが孫子のように子供たちを見つめてくれて、子供たちにとってもじいじ・ばあばの死をと

とても近くに感じられるようになった。それにいつも自然と触れ合うことができ、子供たちにとってすばらしい環境となっている。」概ねこのような講演でした。

コロナが気にならなくなったら、きらきらとして石徹白の自然エネ観察旅行を企画したいと思いました。これからも「自然エネルギーと地域おこし」をテーマとしたオンライン学習会を継続したいと考えます。どなたか自分で聞きたいと思う講師をご紹介ください。(広幡)



宮城県再エネ補助金制度充実 自家消費型に 2 千万円

第三者所有型に 1kw 当たり 5 万円の補助

きらきら発電役員会は 5 月 18 日宮城県の再エネ推進室を訪ね、宮城県の再エネ補助金制度を聞いてきました。太陽光発電の国の FIT(固定価格買取制度)が終了した今、宮城県は自家消費型と第三者所有型の両方に補助金を出しています。どちらも 10kw 以上の発電が対象です。

自家消費型は発電量の半分以上を自分で消費する法人への援助で、エネルギー自立促進型には補助率 1/2 で 2 千万円まで、一般枠は補助率 1/3 でこれも 2 千万円までの補助金です。一般枠の太陽光発電で補助対象になるのはカーポートなど(屋根は対象外)との説明でした。

第三者所有型は 1kw 当たり 5 万円の補助金で、上限は 300 万円。この第三者所有型補助金は仙台市も今導入を検討しており、実現すれば 1kw10 万円の補助金を実現します。すると 1kw30 万円ほどの設置費用が 20 万円ほどに下がり、1kw 単価 10 円の売電が可能になります。

